



祝 卒業  
同窓会入会記念号

令和6年2月29日  
(2024年)

編集・発行  
島田高校同窓会  
〒427-0038  
島田市稲荷 1-7-1 修己館内

～同窓会事務局～  
TEL/FAX 0547-21-1145  
メールアドレス  
kawanami@ab.thn.ne.jp

～学校事務室～  
TEL 0547-37-2188  
FAX 0547-35-1744

同窓生 23,603 名  
76回生 181 名

コロナからの解放、  
そして「風の時代」へ



同窓会長  
大久保 節夫  
(21回生)

静岡県立島田高校卒業生の皆さん、  
ご卒業おめでとうございます。心より  
お喜び申し上げます。未だ時折寒い日  
が続きますが、間もなく新しい門出に  
相応しい春が訪れると思います。皆さ  
んは、その日を心待ちにして心躍る気  
持ちだと思えます。3年間の高校時代  
を通して、夫々の進路に向かって準備  
をされながら見違える様に立派に成長  
されたと思います。

昨年は、3年半にわたり、私たちを苦  
しめ、行動制限をさせた新型コロナウ  
イルス感染症も5類へと移行になり、  
全ての行事がコロナ前と同じように開  
催する事が出来ました。学校生活に於  
いても同様かと思えます。しかし一方  
で、制限のある日が続いた為に、生活様  
式・スタイルの変化や価値観の多様化

などが急速に進み、私たちのニーズは  
大きく変わりました。また急激な、そし  
て長引く円安による物価高騰、構造的  
な少子高齢化時代が進む中での人口減  
少、そして国際情勢の不安定化など、  
私達を取り巻く環境は一段と厳しさを  
増す難しい方向に進んでいるかと思  
います。そんな状況下で、皆さんはご卒業  
され新たな社会へと進まれて行く事  
なるかと思えます。

コロナから解放され、これから始ま  
って行く「風の時代」を存分に力を発揮  
し、活躍して頂きたいと思えます。目  
に見えないもの、形の無いもの「情報」・  
「知識」等が重要視される時代です。何  
より「多くの事を知る」事が大事です。  
そして、自分の好きな事、やりたい事  
に素直に行動して行く事です。その中で  
多くの人達と関わりながら人間性を磨  
き成長して行って頂きたいと思えます。  
卒業を迎えられる皆さんには、卒業  
生全員の「島田高校同窓会」へのご入会  
を頂き有難う御座います。お互いに同  
じ仲間として母校の発展の為に頑張  
って行きましょう。

1月1日に発生した能登半島地震で  
は広範囲にわたって甚大な被害が発生  
しました。亡くなられた方達へ、謹んで  
哀悼の意を表する共に、被災された多

くの方達には、これから始まる「苦難の  
道」に立ち向かい、乗り越え、新たな復  
興への道を切り拓いて頂きたいと願っ  
ていきます。私達で出来ることを応援し  
て行きましょう。

### 川波賞受賞者

堀内 梨花 (31HR)

第19回北信越高等学校選抜放送大会  
長野大会出場 (令和4年度)

第70回NHK杯全国放送コンテスト  
朗読の部全国大会出場 (令和5年度)

### 川波賞

島高在学三年間に、学業・  
部活動・学校教育活動に  
おいて優れた功績のあった  
生徒に対し、その活動を讃  
え、卒業時に賞状の授与と  
記念品を贈呈。

(学校創立90周年を機に創設)

### 同窓会の活動と主な行事

主な活動は以下の通りですが、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、行事の開催は流動的で、日程は確定しておりません。

#### 総会開催

毎年8月に定期総会を開催していま  
す。同窓生となった皆さん、ぜひ出席し  
てください。

#### 「島高同窓生の集い」開催

総会終了後、10年ごとの同窓生一同が  
集まります。同窓生なら誰でも大歓迎で  
すので、是非ご参加ください。

#### 「六月祭」の参加

各界で活躍する卒業生の紹介や、写真  
展など、毎年工夫を凝らして参加してい  
ます。

#### 同窓会報「川波だより」発行

同窓会活動の報告、恩師や同窓生の近  
況、女学校時代の元気な先輩の生き  
方、また島田高校の様子など、興味深い  
記事が満載です。ホームページで閲覧で  
きます。

#### 在校生支援

充実した学校生活の  
支援のため、部活動奨  
励金や奨学金の給付を  
行なっています。



同窓会ホームページ

### 76回生の学年委員さん

- 31 HR 山田涼太 片山 歩
- 32 HR 松村優哉 鈴木 琳
- 33 HR 河野 修 長嶋七音
- 34 HR 大石峻輔 飯田実央
- 35 HR 松本和輝 植田成実



### 先輩からのメッセージ

同窓生講話 講師

杉森雄幸 (41回生)

昨年12月21日の講演会ではご視聴ありがとうございました。特にご卒業する3年生は何かお役に立てましたか？今から35年前の自分は、この後はじまる東京での大学生生活に不安を感じている頃でした。これから先、同じような高校生活を送ってきた友人とは少しずつ違う生活を送るようになっていきます。それは自分だけの世界であり、誰一人同じ人はいません。自分はやりたいことにたどり着くまでに長い時間がかかってしまいました。今でも水中撮影を楽しんでいます。この原稿を書き終えた数日後、アイム冒険少年・脱出島のロケに行く予定です。ロケ前は必要な機材リストを作り、カメラ、ダイビング機材、衣類等をパッキング、ロケスケジュールのチェック、番組の構成に目を通します。ロケ初日、車で羽田空港に向かい、他のスタッフと合流してロケ地に向かいます。ロケ中はディレクター、タレントと打ち合わせをして撮影を進めていきます。すべてのロケが終わると撮影データをチェックして、製作スタッフ(A・D)に渡します。羽田空港から自宅へ戻るとき、首都高から東京の夜景を眺めていると、今回も無事撮影を終えることができた安堵と達成感をごみ上げてきます。



今年で54歳、今でも島高の同級生、特にバスケット部の仲間とはいい関係が続いています。各々

様々な人生を送っていて、時に大きな励みになったりもします。もしも自分と同じ業界に来る方がいたら、ぜひ一緒に仕事をしてみたいですね。



同窓会理事 杉本章子 (25回生)

「私の特技」  
30代に学んだカウンタリングがきっかけで16日間のイギリスドイツ静岡県海外研修に参加。その後、北欧、アメリカに福祉事情&グループホーム等の視察研修を経て、島田市で子育て支援事業を友達と立ち上げ100人以上のママたちと一緒に悩み考え、寄り添ってきた。



個人的には学習塾を起業し、地域では高齢者のサロンを開所、近くの休耕地には仲間とコスモス畑を展開し5体の案山子も製作。また、豊大の段ボール紙芝居を描き、地元の保育園や高齢者サロンで読み聞かせの実演・・・何とも楽しい！  
京都西京極競技場に同窓会理事たちと島高駅伝の応援に繰り出し、また島高100周年記念事業にも関わった。

ごく普通のおとなし〜い(?)島高生だった当時の私に、50年後、こんな欲張りな自分の人生を想像できたのだろうか？

よくよく考えると、私の隣には必ず一生涯の大切な相棒や地域の仲間、友がいた。そう、「私の特技は良い仲間 相棒を見つけれ & 見つけてもらう」ことだ。

そして、これだと決めたら 普段の数倍の力で突き進むことだと思ふ。ちなみに、この特技が養われたのが夢見る少女時代の県立島田高校であったことは間違いない。

この先、難解な問題や岐路に立たされるか

もだけど、何とか生き抜いていくしかない。そう、私には特技があるから！そして考える「好きか嫌いか」「そこに笑顔があるか？楽しいか？」と。

同窓会理事 亀山昌仁 (27回生)

「高校生活を楽しもうぜ！」  
昭和47年4月、島高の門を潜り硬式野球部に入部、すぐさま正座にうさぎ跳びの試練を受ける。先輩からの説教にケツバット、馬鹿だの何だの言われても大好きな野球をやめようとせず、何とか3年生まで続けてこられた。

最後の夏は、開会式直後の開幕戦、シード校の静岡市立高戦、結果は2対3の逆転負け、悔しくて大泣きした。諦めきれずに大学野球までやり、社会人として消防士を38年間勤めた。この間、45歳まで草野球を続け、その後は審判員として現在に至る。

私は、60歳までの礎は、この高校生活3年間にあって思っている。学業では、赤点を取り先生に怒られながらも何とか卒業できた。文化祭や体育祭も楽しかった。何よりも、3年間の高校野球を通して人間形成が出来たと思っている。卒業生諸君、高校生活を楽しめたかな。答えは、社会人卒業の頃わかるはず。



同窓会理事 高橋琢也 (34回生)

卒業生の皆様、おめでとございます。すでに頭の中は次のステップに向けての期待、希望に満ち溢れていることと思います。

自分を含めた34回生は還暦を迎え、仕事においては終盤にさしかかっています。私たちが高校卒業後、時代はアナログからデジタルへと大きく変化しました。また、コロナの影響により、通販の拡大、キャッシュレス化、セルフレジ、タブレットでの注文、会社

ではリモートワーク、WEB会議など、人と対面する場面が少なくなり、それに伴い人との繋がりが薄れてきたように感じます。しかし、過去において困難な状況、事案が発生した際、解決の糸口の多くを家族、友人、仕事仲間から与えてもらったことを考えると、人の繋がりは社会生活において最重要だと今さらながら認識します。

同窓会校内理事 森井尚利 (36回生)

今後の皆さんにとって豊かな人間関係を築くことは必ずプラスに作用すると思います。人付き合いの苦手な方も卒業を機会に一歩踏み出してみませんか。

島田高校同窓会では10年に一度「同窓生の集い」が開催される。「回生」の下1桁が同じ同窓生が、宮美殿に一堂に会するのだ。新型コロナウィルスのせいでここ4年間は開催が見送られてきたが、2024年8月24日、下1桁0の代から復活する予定である。君たちの代は順当に行けば2030年になる。全員20歳は超えているはずである。ということ、同窓生という同じ立場で酒を飲みたいものである。ただし、50代(その時は60代?)の脳は20代、30代のような優れた記憶力を持ち合わせていない。「先生、私誰かわかる？」といった質問は「容赦願いたい」。

さて、君たちは今後一生、島田高校同窓生である。「どこ高出身？」と聞かれて胸を張って「島高!!」と答えられる喜びを分かち合おう。

